

先進的な取り組みを行っている

第3弾 見守り・防犯

東久留米市 氷川台自治会 (355世帯 高齢化率 33.4%)

前回に引き続き、多岐にわたる事業を展開している氷川台自治会の活動を紹介していきます。今回は『見守り・防犯』についてです。

防犯の問題…近年、自治会組織や地域の防犯ボランティアによる、自主防犯活動が様々な形で盛んに行われていますが、地域の実情に応じた防犯の強化、活動者の確保、活動の効果を高める環境整備等が課題となっています。

地域の団結力で

犯罪者を近づけない“まちづくり”！！

氷川台自治会では、“安心・安全で暮らしやすい町”を目指して、平成24年5月から防犯活動を実施しています。



3つの活動	① 防犯ウォーキング ② わんわんパトロール (ご褒美付き) ③ 愛のひと声運動パトロール (東中青少協と合同実施)
活動目的	<ul style="list-style-type: none"> ・災害に強く、安心・安全で暮らしやすい地域にする。 ・通学路の安全確認。 ・子ども達への声掛け、また、子ども達を守り育てるために魅力ある地域社会にする。 ・参加する子どもたちは、友達や大人と触れ合い社会のルールを学ぶ場にする。 ・自治会内のゴミ拾い。
活動日	① と ③ 水曜日と土曜日の17時から 約50分間 ② 毎朝・夕 (仲間同士誘い合って実施、リード標とバンダナ着用)
活動者	① 自治会員 (子ども含む) ② 自治会員と犬 ③ 自治会員・東中青少協 (※1)・民生委員・わんわんパトロール・警察官 (※1 我孫子…少年指導員)
効果	地域の治安が保たれ、子どもたちから声をかけてくれるようになったり、活動中に高齢者に声掛けをして「見守り」の役をなしたりで、周りから認められ参加者も増えてきました。

日常的に防犯活動が行われている地域は、侵入犯罪の抑制につながり、効果が表れているようです！氷川台自治会でも、年3～4回あった空き巣被害が影を潜めたそうです。



市内5つの高校で構成される

防犯ボランティア活動隊が活躍中！

市内5つの高校（我孫子高校・我孫子東高校・湖北特別支援学校・我孫子二階堂高校・中央学院高校）の生徒による”我孫子地区高校生ボランティア活動隊「ABIKO Young-Savers☆」（我孫子ヤングセイバーズ）が、我孫子市防犯協議会・我孫子警察署などの支援を受けながら、防犯キャンペーンなどの防犯啓発活動を定期的に行っています。「ABIKO Young-Savers☆」は、若い力で我孫子の防犯を考えてくれる頼もしい防犯ボランティアです。



地域で若い力を借りて一緒に活動したい！という自治会の皆さん、学生は予定が合えば、地域の力になりたいと思っています！



まずは、お近くの学校へご一報ください。（夜間などの活動制限あり）

〈問合せ先〉 我孫子高校：7182-5181 我孫子東高校：7189-4051

湖北特別支援学校：7188-0596 我孫子二階堂高校：7182-0101 中央学院高校：7188-1101



防犯カメラを活用して、地域の安全確保！

我孫子市では、地域の防犯活動の一環として、防犯カメラを設置する地域団体に対し予算の範囲内において、設置費用の一部を補助しています。

◆補助対象となる団体◆

市内の町会・自治会、商店会、事業所、私立保育園・幼稚園、自主防犯活動団体等。

※マンション管理組合等、特定の建物やその敷地、駐車場等の管理を目的としたものは対象外。

◆補助対象となる防犯カメラ◆

補助の対象となる防犯カメラは、撮影区域の2分の1以上の面積が公道（不特定多数の車両や人が通行する場所）とし、対象となる費用は、防犯カメラの設置に必要な経費とします。（その他、条件あり。）



◆補助金の額◆

補助金の額は、防犯カメラの設置に必要な費用の2分の1以内とし、限度額は1台につき20万円とします。（※千円未満の端数がある場合は切り捨てた額）（内容、市ホームページ抜粋、補助金を受けるためにはその他、条件あり。）



上記以外に条件や注意事項があります。自治会便利帳9ページにも詳細掲載あり。

補助金申請する前には事前協議が必要な事業となっていますので、併せてご注意ください！

※市と事前協議の手続きを行わず、先に設置してしまった場合は補助の対象となりません。

問合せ：我孫子市役所 市民安全課 7185-1111（代表）